



長崎がんばらんば国体 2014
長崎がんばらんば大会 2014

長崎がんばらんば大会 (平成26年11月1日～3日)

第14回全国障害者スポーツ大会

障がいのある選手が、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、社会参加の推進を図ることを目的とした障害者スポーツの祭典です。



ソフトボール

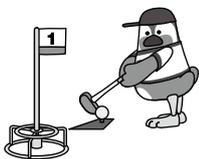
市野球場、補助グラウンド



卓球 (サウンドテーブルテニス含む)

体育文化センター

デモスポ行事 (平成26年9月7日・13日)



グラウンド・ゴルフ

市陸上競技場



パラグライディング

琴平岳展望所

大会マスコットキャラクター



がんばくん



らんばちゃん

長崎がんばらんば国体 (平成26年10月12日～22日)

第69回国民体育大会

都道府県持ち回り方式で毎年開催される国内最大の総合スポーツイベントです。男女総合優勝には天皇杯が、女子総合優勝には皇后杯が授与されます。



ゴルフ (少年男子)

大村湾カントリー倶楽部



バスケットボール (成年・少年女子)

体育文化センター



ソフトボール (少年男子)

市野球場、森園運動広場



山岳 (全種別)

大村高校
大村公園山岳競技(ボルダリング)
特設会場(仮称)



卓球 (全種別)

体育文化センター



銃剣道 (全種別)

大村工業高校

■長崎がんばらんば国体大村市実行委員会事務局 (国体推進課内・内線269)



出会いと
別れの春



vol.9

今春は、久しぶりに私の母校である福重小学校の卒業式に出席しました。木造だった当時の校舎とは違いますが、「二宮尊徳の像や周辺の里山に変わらない面影が残っていました。」
式典の後に今道校長から「市長さんの卒業証書の番号、何番かご存知ですか?」と聞かれ、覚えていないわけもなく笑いながら首をかしげると「第449号ですよ」とニコリしながら教えてくださいました。大村市の公文書保存がしっかりしていることに、改めて驚きました。
卒業式は「君が代」や「仰げば尊し」が歌われず残念でしたが、ちよつと涙もろくなりながら、ふと58年前の少年時代をふりかえざるを得ませんでした。
昭和29年春。「お前、一人で行け」と父から言われるまま、東京大学付属中学校に入学するため、ポストンバッグひとつで上京しました。夜行列車に揺られること26時間。東京駅に降り立ったのはよかったです。待っているはずの兄がいませんでした。
耳に飛び込んでくる「東京弁」は異国の言葉のようで、12歳の私は今にも泣き出しそうになりながらも決断し、住所を頼りに歩き出していました。少し歩いては道を聞き、交番があると間違いないか、お巡りさんに確認しながら、ついに兄が住んでいる家にたどり着きました。兄の顔を見ると大泣きしたものの、一人でもできるんだと誇らしい気持ちになったものでした。何事にも積極的な精神は、あの時できたのかもしれない。兄が来なかったことに、今では感謝しています。
春はいろいろな出会いの時であり、別れの時でもあります。また、少年少女若者たち、働き盛りの人たちにとっても新たなスタートやチャレンジの時でもあります。失敗しても成功しても、振り返った時「一生懸命だったなあ」と思えることができる時であってほしいものです。
みなさんの春も…。